

令和3年度 施政方針

2月16日の沖縄市議会定例会で発表された施政方針の全文です。



第413回沖縄市議会定例会にあたり、令和3年度の市政運営に関する所信を申し上げ、市民の皆さま並びに議員の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、著名な都市のロックダウンを余儀なくさせ、社会や個人の生活を一変させる中、世界各地で変異株が現れるなど、未だ収束の見通しが立たない情勢であります。

今、人類は、平穏な日常・正常化に向け、その英知を結集し、未知のウイルスに打ち克つべく、懸命に取り組みをすすめております。

市民の皆さま、未曾有のコロナ禍にあつて、この難局を乗り越え、日々の生活を取り戻そうではありませんか。本市では、輝く希望の時を見ずえ、1万人規模を収容する「沖縄アリーナ」が、いよいよダイナミックに躍動し始めます。

まさに、ポスト・コロナへの象徴として、近々、内外から、老若男女が集い、賑わう光景を思い描きながら、今しばらく、苦境を支え合い、励ましつつ、頑張つてまいりましょう。

その先には、小さな島で、地球規模のエンタテインメントの舞台となる、FIBAバスケットボールワールドカップ2023が開催され、「小さな島が、我がまちが」世界に発信されます。

衆目を集める世界的イベントの地方都市での開催は、市民の皆さまに、誇りと自信、さらには勇気を醸成し、世代を超え、グローバルに、あるいは、地域貢献に、縦横無尽に活躍していただく、活力の原動力として、必ずや後世にまで受け継がれていくものと確信しております。

私は、経済的な飛躍をも視野に、責任と自覚を持って、アグレッシブに、FIBAバスケットボールワールドカップ2023を成功裡へと導いていく「覚悟」を市民の皆さまへお示ししてまいります。

さて、市民の皆さまのご信託をいただき、一心不乱に駆け抜けた7年の歳月は、全国へも誇れるエンタテインメント拠点「沖縄アリーナ」の落成を迎えるに至り、万感の思いとともに、感謝の念に堪えません。

我がまちのランドマーク「沖縄アリーナ」は、県内最大の屋内収容人数はもとより、エキサイティングなプレーをダイレクトに伝える510インチのメガビジョンや、決定的な瞬間を360度どこからでも見返すことができる自由視点映像システム「4Dリプレイ」等の先端技術を駆使するなど、演出をより際立たせるとともに、くつろぎのラウンジや優雅なVIPルーム等による多彩な観戦スタイルを実現します。

国内屈指のエンタテインメントによって、観る者をワクワクさせ、これまで以上の興奮や感動体験を提供する夢の舞台がいよいよ整いました。バスケットボールBリーグオールスターゲーム2022やFIBAバスケットボールワールドカップ2023の開催決定をはじめ、著名なアーティストのコンサートやアイスショーなど、これまで県内で観ることができなかったイベントの開催により、観客席とステージが一体となって、歓喜に包まれます。

昨年、本市出身の若手ドライバーが、F1レースへの登竜門となるF4レースで、県勢として初の年間王者を獲得するという快挙を成し遂げています。

このような中、本市においては、「モータースポーツマルチフィード沖縄」が、多くの期待を乗せて始動します。コザモータースポーツフェスティバルからあふれる熱気

との相乗とともに、さらなる高みを目指す若手ドライバーの活躍など、本市を中心にモータースポーツの魅力を発信し、県内モータースポーツの聖地化に向けて取り組み、自動車関連産業の進出による雇用創出や、沖縄観光における新たなコンテンツの確立へと加速させてまいります。

スポーツコンベンション拠点と観光リゾート地の形成を目ざす「潮乃森」につきましましては、県内最大級の人工ビーチを舞台に繰り広げられるビーチスポーツや、様々なマリネレジャーを楽しむ光景を思い浮かべ、胸を躍らせております。

人工島の価値を高める企業誘致を推進するとともに、スーパーヨットの寄港実現を促進することにより、本市はもとより、中城湾港に臨む市町村の活性化、さらには、沖縄県の振興に寄与すると信じてやみません。

半世紀にわたり、驚きと発見、喜びや感動を創出してきた「沖縄こども国」につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、一時は休園を余儀なくされるなど、厳しい運営を強いられる中、多くの人々から温かい心遣いや激励をいただいております。

これからも愛され続ける施設として、国内でも類をみない空間演出による魅力的な動物展示をすすめるとともに、拡張区域の整備に向けて取り組むなど、日本ユニークな

動物園を目ざし、チャレンジし続けてまいります。

多様で豊かな自然環境を次世代に継承していくことは、国際社会の一員として、今を生きる私たちの責務であり、「2050年カーボンニュートラル」は、国全体で取り組まなければならない、大きな目標であります。

持続可能な未来の実現に向け、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目ざす「ゼロカーボンシティ」に、市民や事業者等と一体となつて挑んでまいります。

未来を創ることも私たちはかけがえない存在です。子どもたちが健やかに育ち、一人ひとりが可能性を發揮することができるよう、積極的に取り組んでいかなければなりません。

子どもたちの健康を守る取り組みに、より一層、力を入れていくとともに、子育てしやすい環境づくりをさらにすすめ、笑顔があふれること、ものまちなぎをすすめてまいります。

また、学校で学んだことが新しい時代を切り拓いていく力となり、夢に向かって歩んでいくことができ、よう、しっかりと学べる環境づくりをすすめてまいります。

安心して暮らすことができるまちづくりにおいて、災害への備え、防犯対策や福祉課題の解決など、地域の様々なニーズに応えるためには、「自助・共助・公助」の連携の輪を広げ、地域力を高めていくことが重

要であります。

地域の防災、防犯や福祉など、共助の要となる自治会の活動を支援するとともに、誰もが、住み慣れた地域の中で、心穏やかな日々を送れるよう、ちよいしいい心の心でつながる地域共生社会に向けた取り組みや、自ら地域を守るといふ防災意識の高揚により、地域コミュニティの活性化をすすめてまいります。

戦後沖繩を象徴する歴史や、エイサー・音楽などの文化を発信する中心市街地につきましても、地域や企業との連携のもと、沖繩アリーナをはじめとする拠点施設と連動した賑わいの創出を図るとともに、コザ十字路地域の活性化に向けた取り組みをすすめてまいります。

また、国道330号の拡幅とあわせて、地域を結ぶ交通結節点が整備されることで、まちの新たな拠点が生み出され、人々が集い、エリアの価値が高まることを期待し、沿道まちづくりをすすめてまいります。

基地から派生する諸問題について積極的に取り組むとともに、米軍等による事件・事故の未然防止、日米地位協定の抜本的な見直しについて、三連協や軍転協等の関係機関と連携しながら日米両政府に強く求めてまいります。

人類は、ウイルスという自然界の脅威に立ち向かい、ワクチンの開発等で、感染症の克服に向け、大きく動きだしております。

私は、コロナ禍の長期化による市

民生活や地域経済へのダメージに対し、地域の実情に即した経済・雇用など、国や県の行き届かない対策等を講じるとともに、「活力あふれる沖繩市」の実現に向け、着実な施策展開を図つてまいります。

以上、私の市政運営に対する基本的な考えを述べさせていただきます。市民の皆さま並びに議員の皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

次に、令和3年度の主な施策の概要について申し上げます。

はじめに「平和への思いと豊かな文化が息づき一人ひとりが輝き交流するまち」です。

平和行政の推進につきましては、悲惨な沖繩戦の教訓や平和の尊さを継承するため、沖繩市民平和の日記念行事や平和月間における各種事業に取り組むとともに、平和大使を広島県へ派遣するなど、平和を内外へ発信します。

人権の啓発につきましては、人権教室および特設人権相談所の開設を支援するとともに、性の多様性に関する理解促進に向けて研修等を開催するなど、啓発活動に取り組んでまいります。

認知症高齢者等の支援につきましては、認知症の早期発見・支援に向けた地域づくりをすすめるとともに、金銭管理等に関する相談支援、成年後見

制度の普及や市民後見人の育成に取り組んでまいります。

男女共同参画社会づくりの推進につきましても、きらめきフェスタ・パネル展各種講座の開催や啓発紙「きらめき」の発行などをおして、普及・啓発を図つてまいります。

文化芸術の振興につきましては、「(仮称)沖繩市文化芸術祭」をまちなかにおいて開催するとともに、文化活動団体等が実施する舞台公演や若者が主体となる文化活動を支援し、市民が芸術文化に触れる機会の創出を図ります。

また、文化活動拠点施設の機能充実につきましても、市民小劇場あしびなーの照明設備改修工事を実施するとともに、沖繩市民会館の耐震改修に向けて取り組んでまいります。

戦後文化の発信と歴史学習の支援につきましても、沖繩市戦後文化資料展示館ヒストリートにおいて、企画展を開催するとともに、市史資料の充実に向け、「沖繩市史」第五巻移民編および第六巻戦後編の発刊に取り組んでまいります。

文化財の保存と活用につきましては、貴重な文化財に関する調査や講座等を実施し、文化財の保護意識の啓発を図つてまいります。

また、国指定名勝「アマミクヌムイ」に追加指定された越来グスタにつきましても、次世代に継承していくため、関係機関等と連携しながら、保全を図る計画を策定します。

生涯学習の推進につきましては、学習活動を発表する場として生涯学習フェスティバルを開催します。

また、青年会等の社会教育団体への活動支援および文化センターの耐震改修に取り組んでまいります。

市立図書館につきましては、電子図書の実用や地域と連携したイベントの開催など、利用しやすく魅力ある図書館づくりを推進してまいります。

市民スポーツの推進につきましては、親子で参加できるスポーツ教室およびスポーツデイを開催するとともに、学校体育施設をスポーツ活動の場として開放するなど、スポーツ活動の機会提供に取り組んでまいります。

国内交流につきましては、豊中市へ伝統芸能団体を派遣するとともに、東海市との教育文化交流をおこなうなど、市民が主体となった兄弟・姉妹都市との交流を促進してまいります。

国際交流につきましては、国際性を備えた人材の育成や市民主体の国際交流を促進するため、コザインターナショナルプラザにおいて、交流イベントや各種語学講座などを実施するとともに、海外移住者子弟研修生の受入れおよび海外姉妹都市レイクウッド市との交流に向けた留学支援をおこなってまいります。

地域コミュニティの活性化につきましては、コロナ禍における新しい

生活様式を実践するため、インターネット環境の整備や図書コーナーの充実などの新たな自治会活動および自治会運営に向けた支援金を交付するとともに、引き続き、自治会活動に必要な備品購入や地域ものづくり活動を支援します。

また、自治会加入促進に向け、新たにSNSを活用した自治会の魅力発信および自治会会員と賛助会員双方にメリットを生み出す取り組みを支援してまいります。

地域コミュニティ活動拠点施設の整備につきましては、山里自治会公民館の解体工事および泡瀬第一地区学習等共用施設のLED照明改修工事をおこなうとともに、大里・与儀自治公民館の改修工事および古謝自治会の自主放送設備改修工事を支援します。

多文化共生の推進につきましては、庁内窓口における通訳や広報誌「ニューズレター」の発行に取り組んでまいります。

次に「夢を抱き 未来を拓く 子どものまち」です。

大学等への進学につきましては、経済的理由により進学をあきらめることがないよう、入学準備金を給付します。

また、沖縄市育英会の活動を支援し、修学にかかる負担軽減を図ってまいります。

こどもの居場所づくりにつきまし

ては、食事の提供や学習支援等をおこなう団体を支援するとともに、居場所を必要とするこどもの状況把握に取り組んでまいります。

若年妊産婦の支援につきましては、安全・安心な環境で出産・育児ができるよう支援するとともに、自立に向けた生活指導や就労支援等に取り組んでまいります。

待機児童の解消につきましては、私立保育所の施設整備を支援し、定員数の拡大を図ります。

また、保育人材の確保に向け、保育士の正規雇用化および年休・休憩取得を促進するとともに、保育士就職説明会を開催します。

認可外保育施設への支援につきましては、入所する児童の健全な発達および施設の安全確保に向け、職員の資質向上を図る研修や施設改修費等を支援してまいります。

母子保健の推進につきましては、子育て世代包括支援センター「結ばく」とにおいて、妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援に取り組んでまいります。

また、産後うつや育児不安等を早期発見・支援するため、産婦健診および産後ケアを実施します。

発達の気になる子の支援につきましては、児童発達支援事業所つくし園の機能拡充により「沖縄市こども発達支援センター」を開所し、関係機関と連携しながら、こども一人ひとりの発達状況に合わせた支援に取り組んでまいります。

こども医療費助成につきましては、令和3年10月より、新たに通院医療費の助成対象を中学校卒業まで拡充するとともに、中学校卒業まで通院・入院医療費の窓口無料化を実施します。

ひとり親家庭の支援につきましては、認可外保育施設および放課後児童クラブの利用料を助成し、子育てにかかる経済的負担軽減に取り組むとともに、母子生活支援施設レインボーハイツにおいて、保護が必要な母子に安心して過ごせる住環境の提供および自立に向けた支援をおこなってまいります。

また、就職に結びつく資格取得を促進するとともに、新たに高等学校卒業程度認定試験の合格に向けて支援します。

地域における子育て支援につきましては、ファミリリーサポートセンターにおいて、育児相互援助を促進するとともに、地域子育て支援センターやつどいの広場において、親子のふれあいや保護者同士が交流する機会の創出など、子育て世帯の不安軽減を図ってまいります。

放課後の居場所づくりにつきましては、越來小学校内放課後児童クラブの供用を開始します。

また、(仮称)美里中学校区児童館の基本設計をおこないます。

公立幼稚園の給食につきましては、越來・コザ・美里・美東・美原幼稚園における給食導入に向け、配膳台等の備品を整備します。

学力の向上につきましては、小学校に学習支援員を配置するとともに、中学校において放課後学習支援教室を実施し、一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな教育を推進してまいります。

また、学習意欲の向上を図るため、中学生の検定試験受験料を助成するとともに、出前科学教室を開催します。

国際理解教育につきましては、グローバル化に対応できる人材を育成するため、小中学校に外国語指導手を配置するとともに、中学生を対象に海外短期ホームステイを実施します。

教育相談につきましては、困り感を抱える児童生徒に対して相談支援をおこなうとともに、いじめの防止や早期発見に取り組んでまいります。

また、不登校児童生徒につきましては、学習支援や相談支援等に取り組み、登校復帰や社会的自立に向けた支援をおこなってまいります。

特別な支援が必要な児童生徒につきましては、特別支援教育補助者等を配置し、一人ひとりに応じた支援をおこなってまいります。

外国籍の児童生徒につきましては、学校生活に適應できるよう、日本語指導や教育相談等をおこなってまいります。

学校教育施設につきましては、島袋幼稚園・美東幼稚園の園舎新增改築工事および美原小学校の校舎新

増築工事を実施するとともに、安慶田中学校校舎改築の基本計画および宮里中学校校舎新增改築の基本設計をおこないます。

また、越来小学校・美東小学校および美東中学校の屋外運動場を整備します。

学校給食につきましては、老朽化した第2調理場の改築に向け、建築工事等をおこないます。

また、多子世帯の経済的負担軽減を図るため、同一世帯の3人目以降の児童生徒を対象に学校給食費を支援してまいります。

こども議会につきましては、市内の中学生および県内の高校生を対象に、地域について学び、社会の成員として自らの意見を表明し、活動する機会を創出します。

青少年のスポーツ活動の促進につきましては、県外大会に参加することも対象に、派遣費を支援するとともに、全国レベルで活躍する野球やバスケットボールのチームを招いて大会を開催するなど、スポーツに触れる機会の創出に向けて取り組んでまいります。

青少年の健全育成につきましては、青少年指導員による巡回指導や青少年教育相談指導員による相談支援等をおこなってまいります。

また、社会生活を送ることが困難な若者やその家族が社会的に孤立しないよう、若者相談窓口において、相談支援に取り組んでまいります。

次に「ともに生きる心が広がりいきいきと暮らせるまち」です。

地域福祉につきましては、第6次沖縄市地域保健福祉計画を策定するとともに、地域における福祉ネットワークの強化に資する活動を支援してまいります。

高齢者の福祉につきましては、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域型地域包括支援センターにおいて、高齢者やその家族の相談支援をおこなうとともに、関係機関等と連携し、地域で高齢者を支える体制づくりに取り組んでまいります。

また、社会参加を通じた高齢者の生きがいづくりを促進するとともに、住民主体による介護予防活動を支援してまいります。

障がい者の福祉につきましては、障がい者が地域で安心して生活し、必要なときに適切な支援が受けられるよう、相談支援や障害福祉サービス等の充実を図るとともに、新たに医療的ケア児の併行通園を支援してまいります。

生活困窮者につきましては、沖縄市就職・生活支援パーソナルサポートセンターにおいて、自立に向けたきめ細やかな支援に取り組むとともに、高校進学に向け、一人ひとりのレベルに応じた学習支援を実施します。

また、生活保護につきましては、

要保護者の状況に応じた適正な保護の実施および自立支援に取り組んでまいります。

市民の健康づくりにつきましては、市民の健康に対する意識向上および健康の保持増進を図るため、スマートフォンアプリの機能を拡充し、おきほくん健康ポイント事業を効果的に実施します。

また、骨髄ドナーとなる市民の経済的な負担を軽減するため、助成金交付制度を開始します。

生活習慣病対策につきましては、ライフステージに応じた各種がん検診を実施するとともに、特定保健指導やAIを活用した特定健診受診勧奨の実施など、生活習慣病の発症・重症化予防に取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症の対策につきましては、全庁的に体制を整え、関係機関との連携を図りながら、市民に対し円滑かつ迅速にワクチン接種の機会を提供します。

予防接種につきましては、高齢者のインフルエンザおよび肺炎球菌の予防接種を全額公費で実施するとともに、乳幼児等への接種勧奨に取り組んでまいります。

次に「一人と産業の成長を支え発展し続けるまち」です。

沖縄アリーナにつきましては、いよいよオープンングを迎えます。

来場された方がストレスのない快

適なアリーナ体験や非日常空間を味わえるよう、プロジェクトシン・マッピング等の備品の充実を図るとともに、周辺駐車場情報システムの導入やコザ運動公園隣接駐車場の整備をすすめてまいります。

沖縄こどもの国につきましては、小動物との触れ合いやエサあげ体験ができるクマ舎周辺エリアの第二期工事をおこなうとともに、拡張区域の用地取得をすすめてまいります。

また、来園者サービスの向上を図るため、飲食・物販の充実や便益施設の整備に取り組んでまいります。

エイサーのまちの推進につきましては、エイサー文化の発信拠点となるエイサー会館の周知やエイサー検定の実施とともに、沖縄全島エイサーまつりの開催およびエイサー団体の県外派遣を支援します。

音楽によるまちづくりの推進につきましては、音楽のまちとしてのブランド力向上を図るため、音楽月間を開催するとともに、多彩な音楽イベントの開催を支援します。

また、沖縄市音楽資料館「おんがく村」において、本市の豊富な音楽資料を整理収集するとともに、常設展示の充実および企画展の開催に取り組みます。

観光の振興につきましては、観光振興基本計画および観光危機管理計画を策定するとともに、本市の観光に関する実態調査や観光情報の効果的な発信をおこなってまいります。

ます。

スポーツコンベンションの推進につきましては、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に出場するフランスバレーボール男子代表等の合宿受入れや大会開催に向けた応援機運を醸成するとともに、スポーツ合宿や大会等の誘致をすすめてまいります。

また、本市で春季キャンプをおこなっている広島東洋カープ、本市をホームタウンとするFC琉球および琉球ゴールデンキングス、サブホームタウンとするパナソニック・パンサーズの活動支援等に取り組むとともに、Bリーグオールスターゲーム2022およびFIBAバスケットボールワールドカップ2023の開催に向けた応援機運を醸成してまいります。

スポーツツーリズムの推進につきましては、モデル事業を実施するとともに、スポーツを活用した観光誘客に取り組んでまいります。

モータースポーツの振興につきましては、モータースポーツマルチワールド沖縄の活用促進を図るとともに、コザモータースポーツフェスティバルの開催を支援します。

商店街の活性化につきましては、沖縄アリーナとの連動を見すえ、商店街の賑わいを創出するイベントの開催および近隣駐車場の利用促進を支援するとともに、既存店舗および新規出店への店舗改修を支援してまいります。

また、銀天街の活性化に向け、拠点

施設を中心に、地域と一体となったイベントやまちづくり会議を開催するなど、人材育成および組織づくりの促進に取り組んでまいります。

企業誘致の推進につきましては、本市へ新たに立地する企業に対する優遇措置をおこなうとともに、関係機関と連携し、情報関連産業や宿泊施設など、本市の産業振興に寄与する業種を中心に、誘致活動をすすめてまいります。

工芸によるまちづくりの推進につきましては、国の伝統的工芸品である知花花織の担い手育成、コザ工芸館ふんどうの運営および沖縄市工芸フェアの開催を支援し、各種工芸の振興を図ってまいります。

ものづくり産業の振興につきましては、市内の優れた商品を地域ブランドとして発信するとともに、沖縄市産業まつりの開催を支援し、生産者の意欲高揚および市産品の周知促進に取り組んでまいります。

中城湾港新港地区につきましては、関係機関と連携し、物流の促進や定期航路の開設に向けた支援に取り組んでまいります。

就労支援につきましては、子育て世代、若年者や障がい者等に対する就労相談や定着支援など、関係機関と連携し、きめ細かな支援に取り組む、雇用の促進を図ってまいります。

創業支援につきましては、創業を志す方への相談対応をはじめ、ICT人材育成にかかるプログラミン

グスクールや各種講座等を開催するとともに、積極的な情報発信により、市内への産業集積に向けて取り組んでまいります。

農業の振興につきましては、農業の担い手の確保および育成を図るため、「沖縄市人・農地プラン」を推進するとともに、農家に対する農地集積を促進してまいります。

また、大里をはじめとする東部地域の農道等の維持管理に取り組むとともに、ふれあい広場の活用を促進し、農民研修センター周辺の活性化を図ってまいります。

畜産業の振興につきましては、家畜伝染病の予防や優良種畜の導入等を支援し、畜産経営の安定化を図るとともに、畜産共進会の開催により、農家の技術向上や交流等を促進してまいります。

水産業の振興につきましては、漁家経営の安定化に向け、浮漁礁の設置や漁船装備品の近代化等を支援するとともに、水産教室を開催し、魚食の普及および地産地消の促進を図ります。

次に「環境と調和し安心して住み続けられるまち」です。

環境にやさしいまちづくりにつきましては、太陽光発電システムおよび省エネ設備の設置補助をおこない、エネルギーの有効活用を図るとともに、ごみの減量化に向け、3Rの推進に取り組んでまいります。

防災対策につきましては、災害時避難所等の標識および災害用備蓄倉庫の設置や備蓄物資の更新等をおこなうとともに、関係団体等と連携した防災訓練の実施や自主防災組織の結成・活動を支援し、地域の防災力向上を図ってまいります。

また、古謝地区において、里道を活用した災害時の緊急避難通路を整備します。

消防・救急体制につきましては、市民の安全・安心の確保に向け、高規格救急自動車および水槽付消防ポンプ自動車を更新します。

また、コンビニエンスストアのAEDを更新するとともに、応急手当講習会を開催します。

防犯対策につきましては、夜間における市民の安全を持続的に確保するため、保安灯のLED化を推進するとともに、引き続き、自治会が負担する保安灯電気料金の負担軽減に取り組みます。

消費者行政につきましては、高度化・複雑化する消費者トラブルの未然防止に向け、消費者月間パネル展や出前講座等を継続して開催するとともに、沖縄市消費者センター相談員の資質向上を図ってまいります。

キャンブ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区につきましては、返還後の円滑な土地利用を見すえ、公共用地の先行取得をおこなうとともに、北中城村と連携し、土地利用計画の検討をすすめてまいります。

火葬場につきましては、建設候補

地の検討をおこなうなど、整備に向けた取り組みをすすめてまいります。

中の町地区土地区画整理事業につきましては、良好な市街地の形成に向け、地区計画を策定するとともに、仮換地指定に取り組んでまいります。

中心市街地の定住促進につきましては、戸建や共同住宅等の住宅整備にかかる除却費用を支援します。

安慶田地区土地区画整理事業につきましては、安慶田小学校線の道路改良工事を実施するとともに、物件移転補償をすすめるなど、住環境の改善に向けて取り組んでまいります。

美里第二土地区画整理事業につきましては、早期完了に向け、道路・擁壁等の整備をおこなうとともに、換地計画の策定に取り組んでまいります。

東部海浜開発地区につきましては、ビーチフロント観光拠点の創出に向け、用途地域および港湾計画変更にかかる資料を作成するとともに、PRイベントによる事業の周知に取り組みます。

また、企業誘致につきましては、一部竣工した健康医療施設区域における企業ヒアリングや人工島全体にかかるエリアマネジメント基本構想の策定に取り組むとともに、認知度向上や企業進出の機運醸成に向け、沖縄市東部まつりと連携し、東部海浜大花火を実施します。

市域全体における総合的な交通体系の構築につきましては、(仮称)池武当インターチェンジの事業化や沖

縄北インターチェンジ交差点周辺の整備を促進するなど、快適で移動しやすい道路環境の実現に向けて取り組んでまいります。

また、中部圏域への波及を旨とする中長期的な活性化に向け、嘉手納飛行場の共同利活用について調査研究をすすめてまいります。

道路整備につきましては、安慶田中線5工区等の道路改良工事を実施するとともに、東南植物楽園線(倉敷工区)、諸見里山里線、南桃原62号線やセンター中央通り線の用地購入・物件移転補償をおこないます。

また、道路の良好な景観の形成に向け、宮里34号線、国税庁西側線、松本団地西側線や知花52号線の歩道改良工事を実施します。

市北部地域の道路整備につきましては、交通渋滞の緩和および歩行者の安全確保に向け、登川クランク交差点の詳細設計をおこなうとともに、登川4号線の物件移転補償や登川38号線の用地測量等を実施します。

公共交通につきましては、循環バスを4ルートで運行するとともに、関係機関等と連携し、基幹バスの導入に向けた取り組みをすすめてまいります。

国道330号沿線につきましては、拡幅後のまちづくりに向け、地区計画を策定するとともに、交通結節点の整備実現に向けた交通・回遊まちづくり構想を策定します。

道路の適正な維持管理につきましては、里道の境界確定復元測量を実

施するとともに、管理台帳を作成します。

市営住宅につきましては、老朽化した建物を更新するため、泡瀬市営住宅の本体工事および美里市営住宅の解体・造成工事をすすめることにも、山内市営住宅の基本設計および用地測量をおこないます。

また、長寿命化対策として、室川市営住宅の昇降機改修工事を実施します。

住環境の向上につきましては、空き家等の適正管理や利活用を促進するため、所有者の特定に向けた調査を実施するとともに、啓発活動に取り組みます。

また、住宅のリフォームおよび通学路等におけるブロック塀の撤去等を支援します。

民間建築物アスベスト対策につきましては、建物の吹付アスベストによる健康被害を防止するため、建築物の調査や新たにアスベスト除去にかかる費用を支援します。

公園整備につきましては、コザ運動公園の機能向上に向け、園路・駐車場等の基本計画および出入口移設の詳細設計を実施します。

また(仮称)比屋根公園および海中道路跡都市緑地を整備するとともに、美里公園、若夏公園および南桃原二丁目公園の防災機能の向上を図ります。

市北部地域の公園の整備につきましては、(仮称)松本公園の実施設計、土地評価業務や用地購入をおこな

ます。

緑化推進につきましては、緑と花あふれるガーデンシティーに向け、花いっぱい推進運動を展開するとともに、こどもの国線にハイビスカスを植樹したプランターを設置します。

水道事業につきましては、松本地区、美里地区や泡瀬地区等において配水管布設工事を実施します。

汚水事業につきましては、東部海浜汚水幹線工事、照屋第1汚水幹線切回し工事および県の河川改修に伴う汚水管路の撤去工事を実施します。

また、未接続世帯に対して公共下水道への接続を促進します。

雨水事業につきましては、東部海浜開発地区の雨水排水路実施設計をおこなうとともに、浸水被害の軽減に向け、室川・住吉・宮里地区における雨水幹線工事等を実施します。

また、水路の境界確定復元測量をおこない、健全な土地利用を促進してまいります。

以上、令和3年度の主な施策の概要を申し上げます。

これらの施策をはじめとする諸事業を推進するために、令和3年度の予算編成にあたっては、一般会計において

78,299,000千円、特別会計において27,435,492千円、企業会計において

9,051,879千円

の規模となっております。

我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあり、内外の経済動向や感染症の経済に及ぼす影響を注視する必要があるとされております。

本市の財政状況につきましては、感染症拡大に伴う経済の影響により、税収の減少が見込まれる中、年々増加している福祉・医療等の社会保障経費や公共施設の老朽化対策に係る経費の伸びが予想され、厳しい見通しとなっております。

このような中、本市が持続的に発展していくためには、将来を見ずえた行政改革に取り組みなければなりません。

時代に即した行政需要に的確に対応し、市民サービスの向上を図るため、職員力の向上、機能的な組織体制の構築、民間能力の活用や行政デジタル化の推進など、第6次沖縄市行政改革大綱の取り組みを強力にすすめてまいります。

職員一人ひとりが、スピーディーにセンスよく、恐れることなくチャレンジし、よく学び、よく働き、よく遊ぶ、家族を大事に、そして、市民を大切にするなど、新しい発想と柔軟な対応ができる職員へと成長し続けるとともに、全体の奉仕者として、慈愛と謙虚な心で市民に接することで、「日本一の市役所」を目指してまいります。

職員のワーク・ライフ・バランスを推進するため、育児休業等の取得しやすい環境づくりや、女性職員の管理職登用、意識啓発への取り組みなど、積極的にすすめてまいります。

また、地域への愛着を深め、市民に信頼される人づくりに向けて、全職員の自治会加入を促進するとともに、新採用職員研修の一環として、新たに消防団研修を実施してまいります。

本市の個性的な資源とスポーツの連携強化に取り組み、地域の活性化と市民サービスの向上を図るため、観光スポーツ振興課を新たに設置します。効率的で効果的な行政運営の推進に向け、第3調理場のアウトソーシングに取り組みとともに、広域連携による障害福祉サービス事業者等の指導および実地検査に関する事務の共同処理をすすめてまいります。

ポスト・コロナ社会を見ずえた行政デジタル化を推進するため、最高情報責任者(CIO)の配置や専門人材の活用等をすすめるとともに、保育所入所申込や児童手当の手続きにおいて、電子申請を開始するなど、効率的で利便性の高い行政システムの構築を図ってまいります。

また、ICTによる地域の公共サービスの提供に向け、市域を広くカバーする情報通信基盤の導入を促進してまいります。

時代の大きな転換期にある中、「世界にひらき活力あふれる国際文化観光都市」の実現を目指し、限らない発展に向かうまちづくりの羅針盤と

して、第5次沖縄市総合計画がスタートします。

私は、発症や重症化の予防が期待され、感染対策の決め手とされる、新型コロナウイルスウイルスワクチンができるだけ早く多くの市民に接種できるよう、万全を期すとともに、コロナ禍で落ち込んだ地域経済の再生に向けた極めて重要な1年として、2期目の最終年度を本市の活力創出への起点となるよう、全身全霊を傾注してまいります。

市民の皆さま並びに議員の皆さまのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。私の施政方針といたします。

令和3年2月16日

沖縄市長 桑江朝千夫

